'99. 2. 17 03296

TOTO

ロータンク金具施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容にそって正しく取付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全のために必ずお守りください

ご使用の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお取付けください。この説明書では、機器を安全に正しくお取付いただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

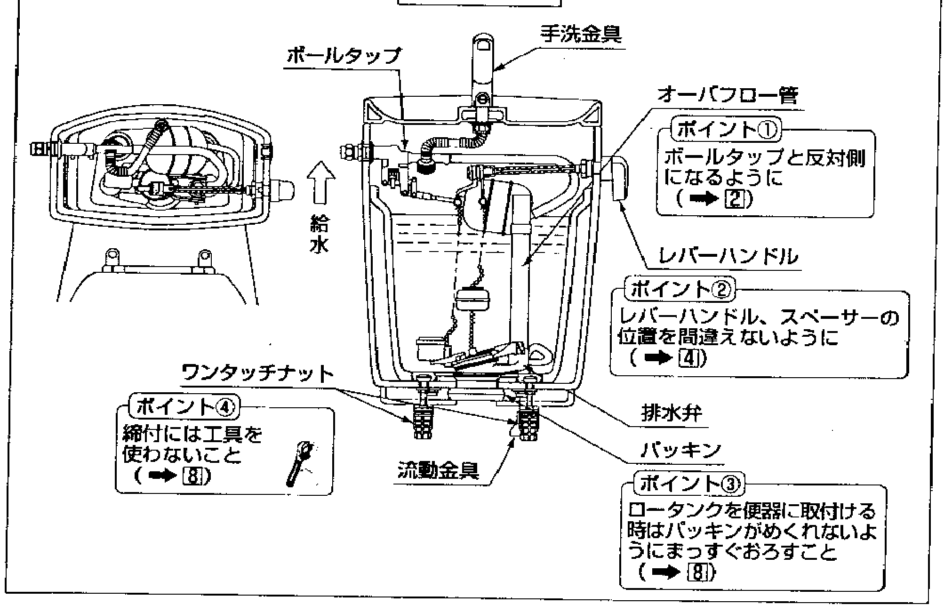
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

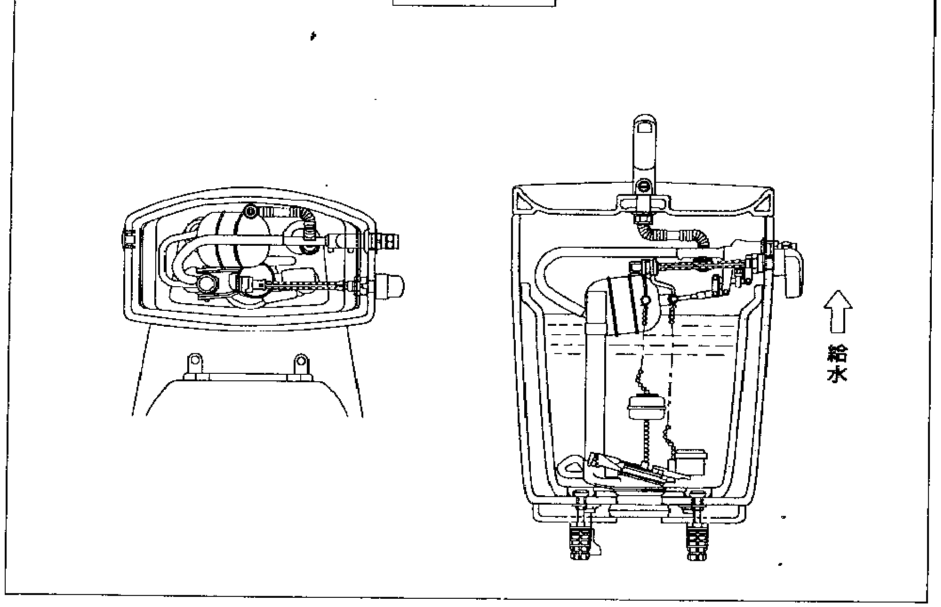
❗ 一般的な指示	⊘ 一般的な禁止

⚠注意	
❗	設置工事に使用する部品は必ず付属部品及び指定部品を使用してください。
⊘	陶器に衝撃を与えないようにしてください。陶器が破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因になることがあります。

各部の名称及び施工のポイント

図は流動方式の場合を示します

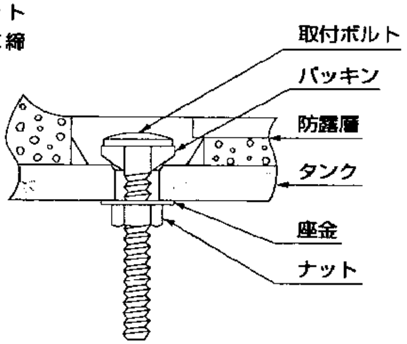




器具の取付け

1 取付ボルトの取付け

背の低い方のナットを使用して強固に締付けてください。

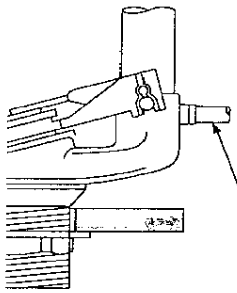


2 排水弁の取付け

防露層取付部の形状に合うように傾けてください。

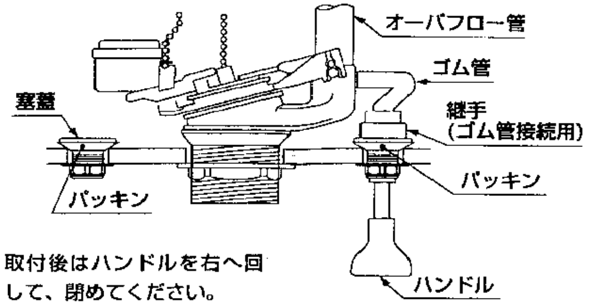
❗	左給水と右給水の場合とは取付方向が違います。オーバーフロー管が、ボールタップと反対側になるよう取付けてください。
	タンク防露層下面部は切取らないでください。

流動式の場合、取付前にゴム管を差し込んでください。



3 流動金具の取付け（流動式の場合）

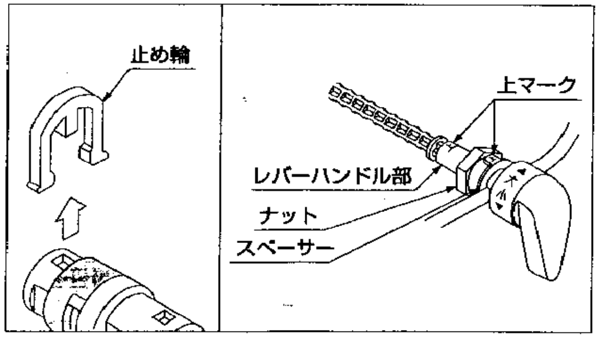
継手（ゴム管接続用）をオーバーフロー管側のタンク底面取付穴に取付け、ゴム管を差込んでください。ゴム管は絶対に切らないで取付け、つぶれたり、折れたりしないようご注意ください。



取付後はハンドルを右へ回して、閉めてください。

4 レバーハンドルの取付け

①止め輪を上に引抜き、レバー部及びナット・スペーサーをスピンドルから外し、レバーハンドル部をロータンクのレバー取付穴に差し込んでください。
スペーサーをはめ、ナットで締め付けてください。
そのときレバーハンドル部の上マークとスペーサーの上マークが必ず真上になるようにしてください。

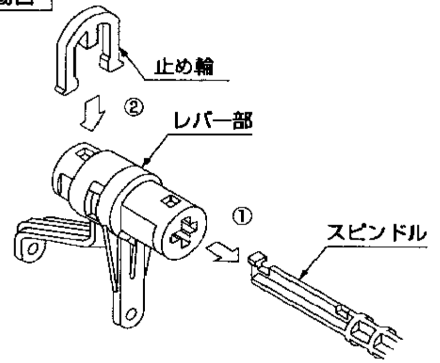


4 レバーハンドルの取付け続き

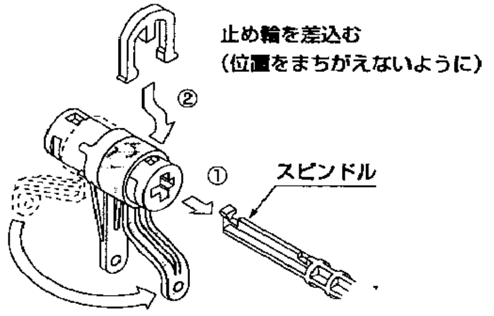
②レバー部を十字の穴のある側からスピンドルに差込み、止め輪を下図の位置に差込みロックします。

❗	止め輪は確実にロックしてください。
	レバー部の取付方法は左給水と右給水とで異なります。

左給水の場合



右給水の場合

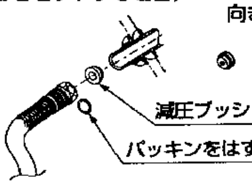


9 ボールタップと止水栓の接続（続き）

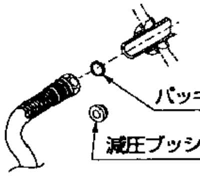
減圧弁ブッシュの取扱い

水圧が低く（0.1 MPa以下）タンク貯水に時間がかかりすぎるときは減圧ブッシュをはずしてセットしてください。その場合、接続部には製品に付属のパッキンを使用してください。減圧ブッシュ使用の場合は、このパッキンは使用しませんのでお客様にお渡しください。

（減圧ブッシュをセットする場合）　減圧ブッシュは必ず図の向きに入れてください。



（減圧ブッシュをセットしない場合）



10 排水弁の作動確認

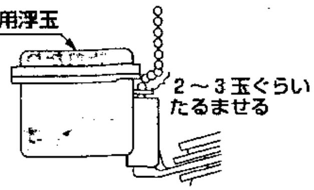
ボールタップと止水栓取付完了後は、大洗浄、小洗浄それぞれが正常に作動することを確認してください。大洗浄時は大用浮玉、小用浮玉ともに浮き上がり、小洗浄時は、小用浮玉のみが浮き上がります。

正常に作動しない場合には玉鎖の調節をしてください。

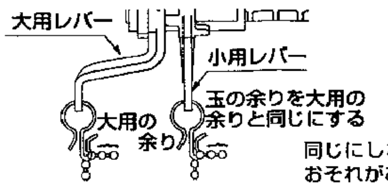
最初は玉鎖を調節せずに、そのままの位置でレバーを接続して動作をご確認ください。レバーを大側に回したときは上下両方の弁が、小側に回したときは上側の弁のみが開くことをご確認ください。正常に作動しない場合は次の手順で調整してください。

10 排水弁の作動確認（続き）

①初めに大用浮玉（ピンク浮玉）につながっている玉鎖を、排水弁操作部の大用レバー（ピンクレバー）につないだ状態で、玉鎖のたるみが、２～３玉ぐらいになるように調節してください。



②小用の玉鎖を大用で調節したときに余った玉の数と同じ数だけ玉を余らせてください。



11 水位の調節

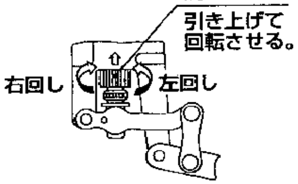
タンクの止水位がオーバーフロー管のWL（標準水位）に合うように、次の要領で調節してください。

①調節リングを引き上げて回すと止水位を上下させることができます。そのとき、浮玉を軽く手で押さえておくとスムーズに回ります。90°回すと約8mm水位が変わります。

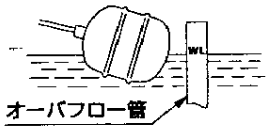
・上から見て右回し…止水位が上がります。

・上から見て左回し…止水位が下がります。

②調節が終わったら調節リングを引き下げて確実にロックしてください。

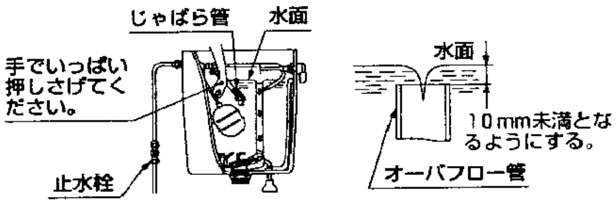


※洗浄不良防止のため、止水位は確実に合わせてください。



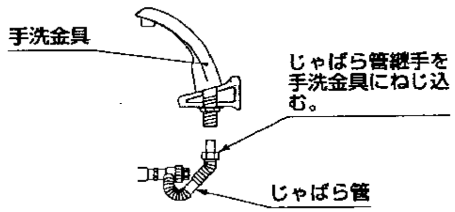
12 止水栓の調節

浮玉を押し下げて、止水栓を徐々に開いてください。この状態で水面がオーバーフロー管より１０mm以上上昇しない程度に止水栓の開きを調節してください。この調節をしておけば、万一ボールタップが故障しても、タンクの水が外にあふれることはありませんし、給水音も低くなります。



止水栓のない場合は、他の水栓の吐水量に支障のない程度に元バルブを絞ってください。

13 手洗金具の接続（手洗付の場合）



14 手洗金具の吐水量調節（手洗付の場合）

調節金具をドライバーなどで回し、手洗金具からの吐水量が適当な水勢になるように調節してください。

15 取付け完了後の確認

２～３度操作して、漏水等の異常がないことを確認してください。なお、冬期間の凍結予防方法についてはお客様にご説明ください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。

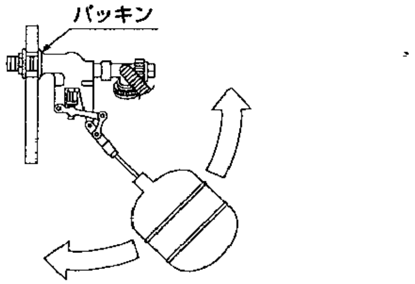
5 玉鎖の接続

①大用浮玉（ピンク浮玉）につながっている玉鎖は、大用レバー（ピンクレバー）につないでください。
②小用浮玉（黒い浮玉）につながっている玉鎖は、小用レバー（白いレバー）につないでください。

> ！ 玉鎖をレバーに接続するときは、玉鎖が交差したり、絡んだりしないよう十分注意してください。洗浄不良となることがあります。

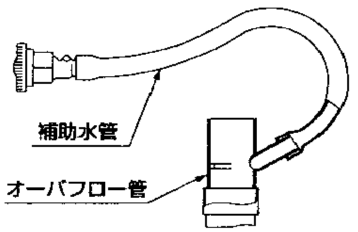
6 ボールタップの取付け

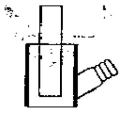
浮玉が上下にスムーズに動くよう正しく取付けてください。



7 補助水管の接続（補助水管付の場合）

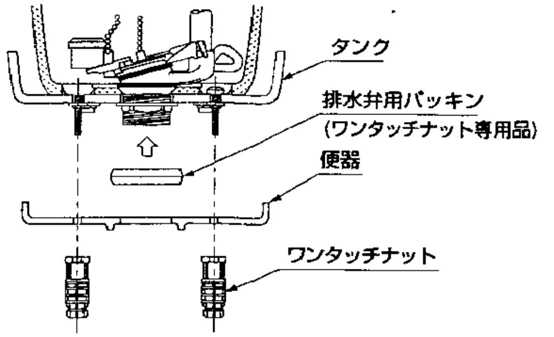
補助水管は絶対に切らずに山なりになるようにとりつけてください。





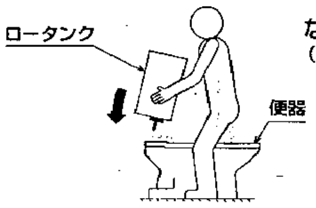
8 タンクと便器の固定

排水弁本体のねじ部にパッキンを差込み、便器側の取付ボルト穴に合わせて差し込んでください。

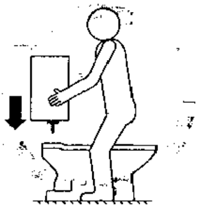


ロータンクを便器に取付ける

下図のようにロータンクをまっすぐおろすように便器に取付けると確実にシールできます。



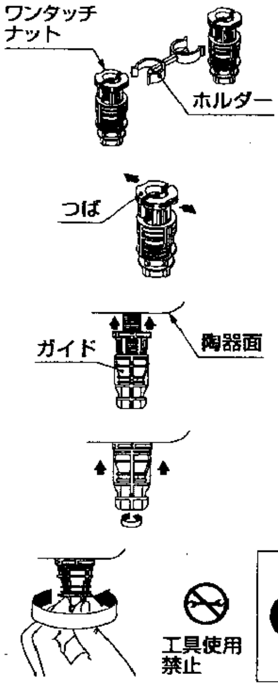
ななめにおろす
(パッキンがめくれることがあります)



まっすぐおろす

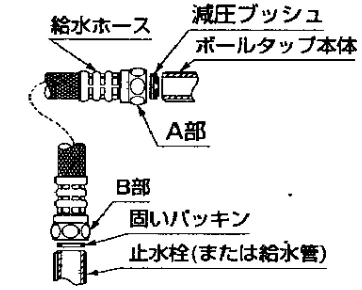
⚠注意	ななめにおろすとパッキンがめくれて漏水するおそれがあります。

8 タンクと便器の固定（続き）



(1) ホルダーを外す
(2) つばが広がっていることを確認する
(3) つばの上面が陶器面に当たるまでボルトに差し込む
(4) ガイドを少し回しながら押し上げる
(5) ワンタッチナットを手でしっかり締めつける

> ！ ワンタッチナットの締付けは手締めで行ってください。工具を使用すると破損するおそれがあります。

9 ボールタップと止水栓の接続

A部を固定した後、B部を固定してください。